

「福岡県プレコンセプションケアセンター」を開設しています

「プレコンセプションケア」とは、「妊娠前の健康管理」を意味します。
近年、出産年齢の高齢化や過度なダイエットなどにより、妊娠・出産のリスクが上がっています。また、妊娠する・しないに関わらず、科学的根拠に基づいたからだや性に関する適切な知識とスキルを学ぶことは、生涯の健康づくりに向けて大切な一歩となります。

このため、福岡県では、将来の妊娠に備えた健康管理等について専門家に相談できる「プレコンセプションケアセンター」を開設しました。

男女を問わず、若い世代が早い段階から妊娠・出産、性に関する適切かつ正しい知識を持ち、その悩みを解決できるよう、相談に応じています。

1. 主な相談内容
妊活、避妊、不妊、不育、性の悩み、性感染症の予防、子宮頸がんの予防など
2. 対象者
思春期以降の男女
3. 連絡先
・ <https://fukuokaprecon.com> （メール相談もこの専用フォームから）
・ 電話相談：092-409-4936（通話料がかかります）
4. 開設日時
・ 日曜日～木曜日、10時～18時まで
※夏季休日（8/13～8/15）、年末年始（12/29～1/3） 祝日を除く
5. 相談対応者
・ 助産師、専門医（産婦人科医、泌尿器科医） ※専門医への相談は要予約
6. 相談業務
・ 大学生、専門学生等を対象として、助産師が妊娠・出産等の正しい知識の取得等の出前講座を開催
・ 小中高等学校養護教諭を対象とした研修会を開催
・ プレコンセプションケアのオンラインマンガを大学生と協働で作成。SNSを活用し、若者に向けて発信



『バレーボールネーションズリーグ2024 福岡大会』が開催されました。



『VNL2024福岡大会』が「西日本総合展示場」（北九州市小倉北区）で開催されました。「男子大会予選」は6月4日～9日、「女子大会予選」は6月11日～16日の間で、いずれも熱戦が繰り広げられました。

＜男子大会参加国＞日本・ポーランド・ブラジル・スロベニア・ドイツ・トルコ・イラン・ブルガリア

＜女子大会参加国＞日本・アメリカ・セルビア・イタリア・オランダ・カナダ・フランス・韓国

＜観客動員総数＞82,974名（男子大会44,302名、女子大会38,672名）

男子代表は『パリ2024オリンピック』出場権を獲得していましたが、日本女子代表は今大会で出場権を獲得しました。

＜ファイナルラウンド＞日本女子は6月23日、タイ・バンコクでイタリアと決勝戦。惜敗し準優勝。日本男子は7月1日、ポーランド・ウッチで決勝戦。フランスとの試合の結果、準優勝でした。



「WBSC女子野球ワールドカップ決勝ラウンド」開催

7月28日～8月4日、カナダで『第9回WBSC女子野球ワールドカップ・決勝ラウンド』が開催されました。

大会7連覇を狙う「侍ジャパン女子代表」に、大野城市を拠点に活動する「九州ハニーズ」から、W杯5大会連続出場となる川端友紀内野手と、初出場の樫岡美和外野手の2選手が出場しました。

福岡県から選出された2人の活躍に、大会も大いに盛り上がりを見せ、応援にも力が入りました。

『第30回世界少年野球大会・福岡県大会』が開催されました。

『世界少年野球大会』は、日米のホームランキング：王貞治氏とハンク・アーロン氏の両氏が、正しい野球を全世界に普及・発展させるとともに、世界の子どものたちの友情と親善の輪を広げる趣旨で、1990年、第1回大会がアメリカ・ロサンゼルス市で開催されました。以来、野球教室、国際交流試合、国際交流行事が継続して実施されています。

記念すべき第30回目となる今大会は福岡県にて開催されました。世界14ヶ国・地域から少年少女が招待され、7月28日～8月5日までの9日間、県内の各球場で開催されました。

野球教室は、日本を含む13ヶ国・地域から85名が参加。参加する子どもたちは9市町に分かれ、「WBSC」（世界野球ソフトボール連盟）から派遣されたコーチたちから野球の基本的な技術を学びました。

国際交流試合は、海外1チーム（15名）が福岡県の地元チームと試合を行いました。

参加した子どもたちは言葉の壁や人種、国境を越えて友情の輪を広げました。

◎野球教室参加国・地域：オーストラリア、中華人民共和国、フィジー、ドイツ、グアム、インドネシア、マレーシア、ミクロネシア連邦、南アフリカ、タイ、アメリカ合衆国、ベトナム

◎国際交流試合参加国・地域：中華台北

◎日本開催地：大野城市、大川市、豊前市、筑紫野市、福智町、太宰府市、みやま市、那珂川市、北九州市。

「まごころアート FUKUOKA GALLERY」開設しています！



<https://fukuoka-artrental.org/>



近年、障がいのある人のアート活動が仕事や日々の営みとして全国各地で盛んにおこなわれ、その作品が評価されるとともに、企業商品や団体のロゴマーク、広報物のデザインなど、様々な形で社会にアウトプットされ、「障がいのある人のアートによる社会参画」という可能性を生み出しています。

「まごころアート FUKUOKA GALLERY」では、様々な場所でアートを楽しんで頂くため、障がいのある人たちの絵画作品を企業や店舗、公共施設などに有料で貸し出し、その料金の30%を作家へ還元しています。

“ダイバーシティ” “インクルージョン” という言葉がキーワードになっている現在、数多くの作品が街中で展示されることで、こうした作品との対話を通じて、福岡の街に新たなコミュニケーションを生み出していくことを目的としています。

多様な作品の持つ魅力を社会に広めることで、障がいのある方が生み出した作品と人々が出会う場所「アートスポット」を街中に作り、社会をインクルーシブに変えていきます。

2024年5月24日、大津市の保護司（60歳）が保護観察対象者（35歳）に殺害される事件が発生。保護司が保護観察中の対象者に殺害された例は過去になく、関係者に大きな衝撃を与えています。全国の保護司から「面接の在り方を考え直さなければならない。」という戸惑いの声が保護観察所や法務省に数多く寄せられています。保護司は、保護観察中の方をしっかりと見守り、立ち直り、再犯防止に務めるという崇高な使命があります。それだけに、今回の事件は使命感をもって、日夜、その任にあたっている保護司にとって、これからの保護司活動はどうあるべきか、大きな課題を投げかけた事件です。

「第二次福岡県再犯防止推進計画」を策定。更生保護の活動を推進します！

2016年12月、「再犯の防止等の推進に関する法律」が制定。翌年12月には、国の「再犯防止推進計画」が策定。これを受け、福岡県では2019年に「福岡県再犯防止推進計画」を策定、国や市町村、民間協力者などと連携し、再犯防止に関するさまざまな取り組みを進めてきました。

2023年3月には国の「第二次再犯防止推進計画」が策定。国・県・市町村の役割が明確となり、都道府県には、市町村に対する支援やネットワーク構築などの役割が示されました。

本県は、これまでの計画の成果や課題、国の「第二次再犯防止推進計画」で明記された県の役割を踏まえ、再犯防止に関する取り組みを更に推進していくため、2024年3月「第二次福岡県再犯防止推進計画」を策定しました。

犯罪や非行をした人の中には、仕事や住居がない、高齢で身寄りがいないなど、地域社会で生活する上で困難な課題を抱えている人が少なくありません。そのような人々が、社会で孤立せず、再び社会を構成する一員となるために、今後も、国や市町村、民間協力者などと連携して「息の長い」支援を行ってまいります。皆さまの一層のご理解とご協力をお願い致します。